

5月

新着図書

大ピンチずかん

著者名:鈴木のりたけ
出版者:小学館

この1冊で、もういつピンチが来てもだいじょうぶだ！

60歳からの「忘れる力」

著者名:鎌田實
出版者:幻冬舎



嫌な気分も、他人の評価も、古い健康常識も、年齢も、気が進まない人間関係も、「〇〇らしさ」も…忘れることで、幸せな老後が待っている！面倒なことは捨てて、好きなことだけで生きるためのヒント60。

魔女と過ごした七日間

著者名:東野圭吾
出版者:KADOKAWA

その夏、信じられないことばかり起きた。「ラプラスの魔女」シリーズ！AIによる監視システムが強化された日本。指名手配犯捜しのスペシャリストだった元刑事が殺された。「あたしなりに推理する。その気があるなら、ついてきて」不思議な女性に導かれ、父を亡くした少年の冒険が始まる

好きになってしまいました。

著者名:三浦しをん
出版者:大和書房

「キュン」のある毎日は、おおむね幸せです。読みはじめたら止まらない、愛と笑いと妄想に満ちた人気作家の日常、ときどき非日常。待望の最新エッセイ集！

60%

著者名:柴田祐紀
出版者:光文社

姿端麗、頭脳明晰のカリスマ極道・柴崎純は、飲酒運転で人生を失った元銀行員・後藤喜一をスカウトし、マネーロンダリング専用の投資コンサルティング会社「60%」を立ち上げる。違法行為に気づくも、地下社会のしがらみのない生き方に惹かれていく後藤。柴崎が従来の反社会組織とは違う不思議なコミュニティを形成し、強い絆で勢力を拡大していく中、「60%」の存在意義にも大きな変化が訪れる。

まぜて まぜて

著者名:accototo
出版者:PHP研究所

“ぐるぐる”“ちゃぶちゃぶ”“はしゃはしゃ”子どもが喜ぶ擬音がいっぱい！

昨日のパスタ

著者名:小川糸
出版者:幻冬舎

ベルリンのアパートを引き払い、日本で暮らした一年は料理三昧の日々でした。春はそら豆ご飯を炊いたり、味噌を仕込んだり。梅雨には梅干しや新生姜を漬けて保存食作り。秋は塩とブランデーで栗をコトコト煮込み、年越しの準備は、出汁をたっぷり染み込ませたおでんと日本酒で。当たり前すぎて気がつかなかった大切なことを綴った人気エッセイ。

笑って人類！

著者名:太田光
出版者:幻冬舎

供達よ、信じるんだ。未来はいつも面白い。世界の平和のため、ダメダメ総理が獅子奮迅！？主要国リーダーが集結する“マスターズ和平会議”に極東の小国・ピースランド首相が、まさかの遅刻。そのおかげで惨劇を免れた彼は、ドン・キホーテのごとく立ち上がるが……。笑いと興奮と感動と――。

審議官

著者名:今野敏
出版者:新潮社

米軍から特別捜査官を迎えた件で、県警本部長とともに警察庁長官官房に向かった竜崎。審議官からの責任追及に、竜崎のとった行動とは一。さらに竜崎異動の余波は、大森署、神奈川県警、そして家族にも…。名脇役たちも活躍するスピノフ9編を収録。

高学歴親という病

著者名:成田奈緒子
出版者:講談社

3大リスクは「干渉・矛盾・溺愛」。子育ては「心配」を「信頼」に変える旅。反抗期がないのは危険信号。子どもを信頼できない3つの理由。高学歴偏重親の「リベンジ型子育て」。金銭感覚がズレている高学歴親。習い事よりも大切なことがある。ゼロ歳児にこそ語りかけよう。「引きこもり」は予防できる。子どもには成功談よりも失敗談を。

5月

新着図書

まぐらの森の満開の下

著者名:春風亭一之輔
 出版者:朝日新聞出版

コロナはなかなか収まらず、休演、代演が続くなか、ついに自身も感染。そんな怒涛の日々、ひたすら綴った「まぐら=時事ネタ」エッセー110本を収録。

ものがわかるということ

著者名:養老孟司
 出版者:祥伝社

考えても答えは出ません。それでも考え続けます。自分を自由にしてくれる養老流ものの見方、考え方。

ちがうのどれだ？

著者名:ごしま正太郎
 出版者:文芸社

ゾウ、カバ、ウシ、キリン、クジラ、ウサギ、ブタ、カメ、フクロウ……。どこがちがうのかな？ いろ？ かたち？ もよう？ ちがうところ、みつけられるかな？ よーくさがしてごらん。あれ？ ひとつのかおは みんなちがうよ？ でもみんな おなじだよ。

連環のブルー

著者名:小石川将介
 出版者:幻冬舎メディアコンサルティング

過去と現在が織りなすみずみずしくも切ない愛の物語。青春時代に想いを寄せた女性と思いがけず再会した貴藤。よみがえった記憶に二人の時間は自然と重なった。しかし動き始めた時計は悲しい結末へと進む一。

迷宮教室 [9]

著者名:あいはらしゅう
 出版者:集英社

迷宮教室にはさらに闇深い「第3階層」があったと発覚！ おちた明莉の救出を急ぐヒカルたち。そこで見つけたのは、こんすい状態の明莉と、「明莉はぼくのおモチャ」と行く手をはばむ敵の少年【キツネ】だった。明莉を目覚めさせるために、ある「ゲーム」に挑むことに。でも【キツネ】は「このゲームをしたら、ぜったいに明莉をきれいになるよ」と言ってきて…！？

恋とそれとあと全部

著者名:住野よる
 出版者:文藝春秋

片思い男子とちょっと気にしすぎな女子。二人は友達だけど、違う生き物。一緒に過ごす、夏の特別な四日間。めえめえ(瀬戸洋平)は下宿仲間でクラスメイトの女子サプレ(鳩代司)に片思いをしている。告白もしていないし、夏休みでしばらく会えないと思っていた。そのサプレが目の前にいる。サプレは夏休み中に遠方にあるじいちゃんの家に行くのだが、それはある不謹慎な目的のためだった。